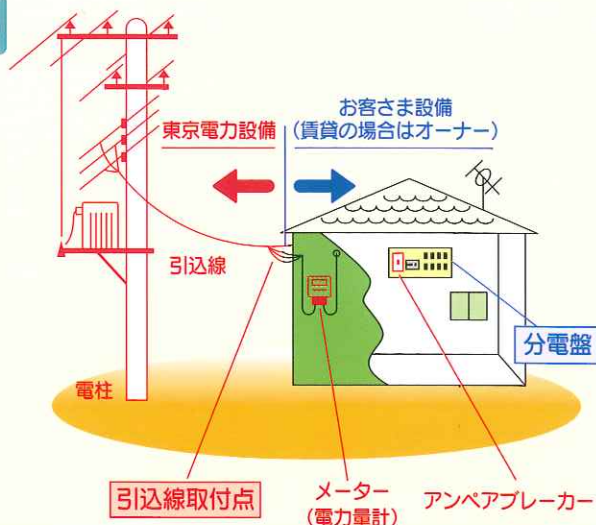


どこからが お客さまの設備？

電気は主に、電柱から**引込線**で
各ご家庭に送られてきます。

引込線より先はお客さまの設備

多くの場合、軒先などに取付けられている**引込線取付点**（黄色または赤色のチューブがついています）までが東京電力の設備、その先はお客さまの設備です。（ただし、メーター（電力量計）、分電盤内のアンペアブレーカーは東京電力の設備です。メーター（電力量計）、アンペアブレーカーに接続されるケーブルはお客さまの設備となります）



お気づきの点があればご相談を！

古くなった電気設備で思わぬ事故をおこさないように、日頃から関心を持ち、お気づきの点があった場合は、お近くの電気工事店または、住宅電気工事センターへご相談ください。



●工事についてのお問い合わせは

お近くの電気工事店または、住宅電気工事センターへ
※同時にお配りした「(保存版) 電気安全パンフレット」の最終ページをご覧ください。

●その他のお問い合わせは

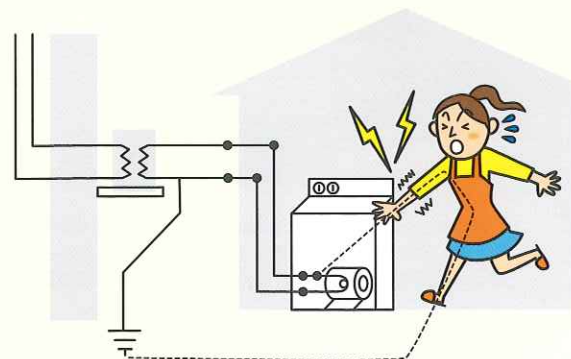
調査にお伺いした調査機関へ
※同時にお配りした「(保存版) 電気安全パンフレット」の最終ページをご覧ください。

電気安全関東委員会 事務局 Tel.03-3213-1676 <http://kandenkyo.jp/safety.html>

※電気安全関東委員会では、漏電遮断器の販売・取付工事は行なっていません。

住宅用分電盤のトラブルに ご注意ください！

漏電による感電事故！



分電盤トラブルで電気製品が故障！



こんな事故を起こさないための
大切なお知らせです！



電気安全関東委員会

ご家庭の分電盤はご自身で管理する個人の設備です。

分電盤の中はこうなっています

分電盤は各部屋に電気を分配し、電気の使い過ぎや漏電を防ぐ大切な役割を果たします。イザという時のために、分電盤の事を知っておくと安心です。

漏電遮断器 (漏電ブレーカー)

漏電遮断器は配線や電気器具から漏れる電流をすばやく感知し、瞬時に電気を遮断して漏電による事故を防ぎます。

アンペアブレーカー (東京電力との契約用ブレーカー)

契約アンペア以上の電気が流れると、自動的にスイッチが切れ電気が止まります。

配線用遮断器 (安全ブレーカー)

それぞれの回路で15または20アンペア(1,500または2,000ワット)以上の電気が流れた時や、配線がショートした時に、自動的にスイッチを切り、電気を止める安全装置です。



漏電・感電事故を防ぐために

漏電遮断器の取付け・交換をおすすめします

電気は安全・便利なエネルギーとして、わたしたちの暮らしに欠かす事のできないものです。しかし使い方をあやまると思わぬ事故につながる可能性があります。そんな事故を未然に防ぎ、電気を安全・快適にお使いいただくため漏電遮断器の取付けをおすすめします。また、洗濯機、衣類乾燥機など、湿気のあるところで使う電気製品には、漏電遮断器といっしょにアースも取付けましょう。



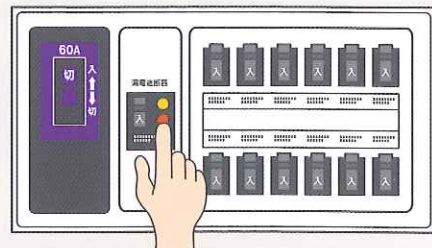
年に1、2回は 漏電遮断器の動作確認を！

テストボタンを押して漏電遮断器が正常に動作しているか確認をしてください。なお、テストの際には電気が消えますのでご注意ください。

年に1、2回のチェックをおすすめします。

長期間使用して古くなったりご使用環境により漏電遮断器が正常に動作しない場合は、取り替えが必要になります。

漏電遮断器は製造後15年が交換の目安です。



中性線のトラブルが起きています

単相3線式には 中性線欠相保護機能付きの 漏電遮断器を

多くのご家庭で使用されている単相3線式配線では、中性線(真ん中の白い電線)の接触が悪くなると電圧が不安定になり、電気製品が故障する事があります。

これはごく稀に漏電遮断器の端子部分のゆるみが原因で起こることがあり、「中性線欠相保護機能」は、このようなときに、いち早く電気を遮断するもので、安心して電気をお使いになれます。

ご注意ください!



中性線のトラブルで家庭にある電気製品が
全て壊れてしまう場合もあります！

単相3線式って…?



お使いのメーター(電力量計)の上部、赤い帯に「単3」と記載されている場合は、単相3線式です。

単3中性線欠相保護付
配線用遮断器兼用
漏電遮断器

11-53-114

「中性線欠相保護機能付き
漏電遮断器」かどうかは
ココをご確認ください。

